

医療分野の研究開発の推進

1. 創設年度：平成 27 年度

2. 平成 31 年度予算額：530.63 億円

3. 事業概要

健康・医療戦略、医療分野研究開発推進計画に基づき、日本医療研究開発機構において以下の医療分野の研究開発を基礎から実用化まで一貫して推進するために必要な経費を措置する。

- ・医薬品・医療機器開発への取組
- ・臨床研究・治験への取組
- ・世界最先端の医療の実現に向けた取組
- ・疾病領域ごとの取組 等＜補助＞

4. 選定理由：ア（事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの）

健康・医療戦略に基づき、医薬品・医療機器開発への取組、臨床研究・治験への取組、世界最先端の医療の実現に向けた取組、疾病領域ごとの取組などを推進する本事業は、政策の優先度が高く、これまでの取組とその成果を評価することで、今後の更なる事業発展を図る必要があるため。

5. 想定される論点

- ・事業をより効果的に実施するための、今後の事業展開の在り方について
- ・健康・医療戦略等に基づき、事業の成果は適切に活用されているか
- ・事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか

※成果指標（平成 30 年度）

- ・ 独法通則法における評価において、標準評価(B 評価) 以上の評価を受けた項目の割合。
- ・ バイオリソースの系統保存数の代表例である実験動物（ショウジョウバエ）の系統保存数（系統数）
- ・ バイオリソースの系統保存数の代表例である実験植物（イネ）の系統保存数（株数）
- ・ 創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数（年度）
- ・ 橋渡し研究支援拠点の支援により基礎研究の成果が医薬品医療機器法に基づく医師主導治験の段階に移行した数

医療分野の研究開発の推進

2019年度予算額	: 53,063百万円
(前年度予算額)	: 53,092百万円)

概要

- 健康・医療戦略(平成26年7月閣議決定)等に基づき、iPS細胞等による世界最先端の医療の実現や、疾患の克服に向けた取組を推進するとともに、臨床応用・治験や産業応用へとつなげる取組を実施。
- 日本医療研究開発機構(AMED)における基礎から実用化までの一貫した研究開発を関係府省と連携して推進するため、文部科学省においては、大学・研究機関等を中心とした医療分野の基礎的な研究開発を推進する。

世界最先端の医療の実現

【再生医療】

京都大学iPS細胞研究所を中核とした研究機関の連携体制を構築し、関係府省との連携の下、革新的な再生医療・創薬をいち早く実現するための研究開発を推進。



○再生医療実現拠点ネットワークプログラム 9,066百万円(8,993百万円)

【ゲノム医療】

既存のバイオバンク等の研究基盤・連携ハブとしての再構築、大規模なコホート研究等を実施し、疾患の個別化予防等の次世代医療の実現に向けた基盤整備を推進。

○東北メディカル・メガバンク計画(健常者コホート) 1,457百万円(1,360百万円)

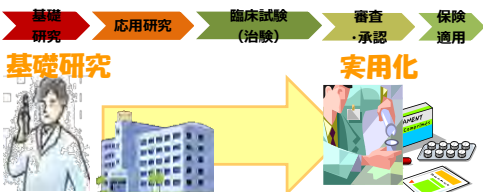
<参考:復興特別会計> 1,597百万円(1,584百万円)

臨床研究・治験への取組

【橋渡し研究】

アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しができる体制を我が国全体で構築し、より多くの革新的な医薬品・医療機器を持続的に創出。

切れ目のない実用化支援



○橋渡し研究戦略的推進プログラム

4,982百万円(4,752百万円)

疾病領域ごとの取組

【がん】

がんの生物学的な本態解明に迫る研究等を推進して、画期的な治療法や診断法の実用化に向けた研究を推進。

○次世代がん医療創成研究事業 3,651百万円(3,550百万円)

【精神・神経疾患】

精神・神経疾患の克服に向け、非ヒト霊長類研究等の我が国の強みを生かし、ヒト脳の神経回路レベルでの動作原理等の解明を目指す。

○脳科学研究戦略推進プログラム・革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト 6,662百万円(5,954百万円)

【感染症】

アジア・アフリカの海外研究拠点での疫学研究、BSL4施設を中核とした感染症研究拠点への研究支援、創薬シーズの標的探索研究等を行う。

○感染症研究革新イニシアティブ 1,650百万円(1,580百万円)

その他の重点プロジェクト等

【バイオ創薬】

アカデミアの優れた技術シーズを用いて医薬品等に係る革新的な基盤技術を開発するとともに、技術パッケージの確立により企業導出を目指す。

○先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 1,261百万円(新規)

【その他】

医薬品・医療機器開発、先端的な基礎研究、老化メカニズムの解明・制御に向けた取組、バイオリソースの整備、国際共同研究、産学連携の取組等を推進。



政策・施策・事業整理票

研究振興局

政策

政策目標	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応
概要	「超スマート社会」を世界に先駆けて実現するための取組を強化するとともに、国内外で顕在化している重要政策課題に対応する研究開発や国家戦略上重要な基幹技術開発を重点的に推進する。



施策

※平成30年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのかわかるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのかわかるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応
施策の概要	「生命現象の統合的理解」を目指した研究を推進するとともに、「先端医療の実現のための研究」等の推進を重視し、国民への成果還元を抜本的に強化する。さらに、生命倫理問題等が及ぼす倫理的・法的・社会的課題に対し、研究の進展状況を踏まえた施策への反映、研究者等への法令等の遵守の徹底等を通じ、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和を目指す。
達成目標1	医薬品・医療機器開発への取組： 医薬品創出のための支援基盤の整備等により、革新的医薬品・医療機器開発を推進する。
達成目標2	臨床研究・治験への取組： 全国に播達し研究拠点を整備し、アカデミア等の基礎研究の成果を一貫して実用化につなぐ体制を構築する。
達成目標3	世界最先端の医療の実現に向けた取組： iPS細胞等を用いた革新的な再生医療・創薬をいち早く実現するための研究開発の推進を図るとともに、ゲノム医療の実現に向けた取組を推進する。
達成目標4	疾病領域ごとの取組： がん、精神・神経疾患、感染症等の疾患克服に向けた研究開発等を推進する。
達成目標5	幅広いライフサイエンス分野の取組の推進： ライフサイエンス研究基盤の整備、国際共同研究等の幅広いライフサイエンス分野の取組を推進。
達成目標6	研究の発展・動向を踏まえ、生命倫理に関する法令・指針に基づいた規制を適切に実施する。



事業

※平成30年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているかわかるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	医療分野の研究開発の推進		
事業の目的	日本医療研究開発機構において、医療分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成等を行うことで、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を促進し、健康長寿社会の形成を目指す。		
事業概要	健康・医療戦略(平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更)、医療分野研究開発推進計画(平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更)に基づき、日本医療研究開発機構において、以下のような医療分野の研究開発を基礎から実用化まで一貫して推進するために必要な経費を措置する。(補助率定額) ○医薬品・医療機器開発への取組 ○臨床研究・治験への取組 ○世界最先端の医療の実現に向けた取組 ○疾病領域ごとの取組 等		
アウトカム	①	定量的な成果目標	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果のうち、施設・設備に関する計画を除いた項目において、標準評価以上の評価を受けた項目の割合とする。
		成果指標	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。
	②	定量的な成果目標	研究基盤として整備している実験動物の系統保存数
		成果指標	バイオリソースの系統保存数の代表例である実験動物(ショウジョウバエ)の系統保存数(系統数)
	③	定量的な成果目標	研究基盤として整備している実験植物の系統保存数
		成果指標	バイオリソースの系統保存数の代表例である実験植物(イネ)の系統保存数(株数)
	④	定量的な成果目標	前年度以上の新たな創薬シーズ件数 ※ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安として設定した
		成果指標	創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数(年度)
	⑤	定量的な成果目標	播達し研究戦略的推進プログラム(H28まで播達し研究加速ネットワークプログラム)において平成32年度までに約16件の基礎研究課題を治験の段階に移行させる
		成果指標	播達し研究支援拠点の支援により基礎研究の成果が医薬品医療機器法に基づく医師主導治験の段階に移行した数
アウトプット	(1)	再生医療実現プロジェクトに係るヒト幹細胞等を用いた研究の臨床研究又は治験への移行数(累計)	
本事業の成果と上位施策との関係	本事業を適切に実行することにより、日本医療研究開発機構における基礎研究から臨床まで一貫した医療分野の研究開発が推進されることで、測定指標に掲げる目標値達成に向けた研究成果等が創出され、施策目標9-3に掲げる生命現象の統合的理解や先端医療の実現等の目標が達成される。		

平成30年度行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	医療分野の研究開発の推進			担当部局庁	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 仙波 秀志	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部 変更)、医療分野研究開発推進計画(平成26年7月健康・医療 戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更)		
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション、 高齢社会対策			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	日本医療研究開発機構において、医療分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成 等を行うことで、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を促進し、健康長寿社会の形成を目指す。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	健康・医療戦略(平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更)、医療分野研究開発推進計画(平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29 年2月一部変更)に基づき、日本医療研究開発機構において、以下のような医療分野の研究開発を基礎から実用化まで一貫して推進するために必要な経費 を措置する。(補助率定額) ○医薬品・医療機器開発への取組 ○臨床研究・治験への取組 ○世界最先端の医療の実現に向けた取組 ○疾病領域ごとの取組 等						
実施方法	補助						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	51,944	53,682	53,154	53,092	64,186
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	920	96	186	-
		翌年度へ繰越し	▲ 920	▲ 96	▲ 186	-	-
		予備費等	6,585	6,329	8,163	-	-
		計	57,609	60,835	61,227	53,278	64,186
	執行額		57,548	60,835	61,227	-	-
	執行率 (%)		100%	100%	100%	-	-
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		111%	113%	115%	-	-
平成30-31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由		
	医療研究開発推進事業費 補助金		53,092	64,186	「新しい日本のための優先課題推進枠」15,727		
	計		53,092	64,186			

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 31 年度
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果のうち、施設・設備に関する計画を除いた項目において、標準評価以上の評価を受けた項目の割合とする。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	100	100	100	－	－
			目標値	%	100	100	100	－	100
			達成度	%	100	100	100	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構の各年度における業務の実績に関する評価								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 33 年度
	研究基盤として整備している実験動物の系統保存数	バイオリソースの系統保存数の代表例である実験動物(ショウジョウバエ)の系統保存数(系統数)	成果実績	系統数	59,052	60,182	62,249	－	－
			目標値	系統数	50,850	50,850	58,900	－	59,500
			達成度	%	116.1	118.4	105.7	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	ナショナルバイオリソースプロジェクト申請書 補助事業成果報告書								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 33 年度
	研究基盤として整備している実験植物の系統保存数	バイオリソースの系統保存数の代表例である実験植物(イネ)の系統保存数(株数)	成果実績	株数	23,110	26,902	27,273	－	－
			目標値	株数	22,807	24,857	25,710	－	28,210
			達成度	%	101.3	108.2	106.1	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	ナショナルバイオリソースプロジェクト申請書 補助事業成果報告書								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
	前年度以上の新たな創薬シーズ件数 ※ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安として設定した	創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数(年度)	成果実績	件	82	94	90	－	－
			目標値	件	81	82	94	－	－
			達成度	%	101.2	114.6	95.7	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	医療分野研究開発推進計画								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 32 年度
	橋渡し研究戦略的推進プログラム(H28まで橋渡し研究加速ネットワークプログラム)において平成32年頃までに約16件の基礎研究課題を治験の段階に移行させる	橋渡し研究支援拠点の支援により基礎研究の成果が医薬品医療機器法に基づく医師主導治験の段階に移行した数	成果実績	件	18	16	24	－	－
			目標値	件	16	16	17	－	17
			達成度	%	112.5	100	150	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	医療分野研究開発推進計画(革新的医療技術創出拠点プロジェクト(文部科学省事業、厚生労働省事業が連携)のKPI(2020年ごろまでの達成目標:医師主導治験届出数 年間40件)より、文部科学省事業の寄与を反映して設定。)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	☒
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	再生医療実現プロジェクトに係るヒト幹細胞等を用いた研究の臨床研究又は治験への移行数(累計)		活動実績	件	8	9	9	－	－
			当初見込み	件	10	10	10	12	13
単位当たり コスト	算出根拠			単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	医療分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成等、事業が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難。		単位当たりコスト	－	－	－	－	－	
			計算式	/	－	－	－	－	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応										
	施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応										
	測定指標	定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度		
		iPS細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究への移行 (累積) ※32年度の目標値は、右記の数値程度とする	実績値	件	6	7	7	-	-			
			目標値	件	-	-	-	-	15			
		定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度		
		発見された疾患関連遺伝子候補及び薬剤関連遺伝子候補数(累積)	実績値	件	283	330	370	-	-			
			目標値	件	-	-	-	-	400			
		定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 33 年度		
		次世代がん医療創生研究事業採択課題のうち、新規分子標的薬剤および新規治療法に資する有望シーズ、早期診断・個別化治療予測バイオマーカーおよび新規免疫関連有効分子の数(累積)	実績値	件	-	3	4	-	-			
			目標値	件	-	-	-	-	15			
		定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
		病原体(インフルエンザ・ Dengue 熱・下痢症感染症・薬剤耐性菌)の疫学研究及び治療薬、迅速診断法等の研究開発の進捗	病原体(インフルエンザ・ Dengue 熱・下痢症感染症・薬剤耐性菌)の流行株の予測や感染経路の解明、治療候補の同定、迅速検出系の構築等を図る。		32年度	-						
						施策の進捗状況(実績)						
						・28年度: インドネシアにおいて高病原性鳥インフルエンザウイルス H5N1に対するヒトの抗体保有調査 によって多数の不顕性感染者の存在を世界で初めて示し、また薬剤耐性菌の耐性を阻害し、感受性を回復させる候補薬剤を見いだした等の成果を創出。 ・29年度: 全ての Dengue ウイルスについてウイルス増殖阻害効果を示す候補化合物の取得に成功し、また薬剤耐性菌についてサーベイランスや感染予防に有用となる迅速簡便な検出方法を開発した等の成果を創出。						
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
		本事業を適切に実行することにより、日本医療研究開発機構における基礎研究から臨床まで一貫した医療分野の研究開発が推進されることで、測定指標に掲げる目標値達成に向けた研究成果等が創出され、施策目標9-3に掲げる生命現象の統合的理解や先端医療の実現等の目標が達成される。										
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	-	
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	-	
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
		-										

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医療分野の研究開発の推進に向けて、法律に基づき設置される日本医療研究開発機構における事業を推進するために国費の投入は必要であり、優先度の高い、国民や社会のニーズを反映した事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療分野の研究開発の推進に向けて、日本医療研究開発機構において、基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、切れ目ない研究支援を一体的に行う必要不可欠な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療分野の研究開発の推進に向けて、日本医療研究開発機構において、基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、切れ目ない研究支援を一体的に行う必要不可欠な事業であり、優先度の高い、国民や社会ニーズを反映した事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	医療分野の研究開発の推進にあたっては、法律に基づき、日本医療研究開発機構において実施することとなっており、政府の全体方針に基づく効果的・有効な事業を推進していくこととしている。調達に関しては、支出先の選定に当たり、執行機関の日本医療研究開発機構においては原則として一般競争入札を選定し、入札辞退者に対しては辞退理由のアンケート調査を行い、結果をフィードバックすることにより改善を行っている。また、新たに随意契約を締結することとなる案件については、機構内に設置された契約審査委員会に報告し、会計規定との整合性や、より競争性のある調達手続の実施の可否の観点から点検を受けることとなっており、監事及び外部有識者によって構成する契約監視委員会において事後点検を行い、その審議概要を公表するなど専門的かつ厳格な審査を行っており妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。
	利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	公募の実施による実施主体の選定に加え、実施主体からの支出については、競争性を確保するため、競争入札等により、競争性・透明性を確保しつつ、合理的な支出を行うこととしている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	健康・医療戦略等に掲げる施策を推進するにあたり、施策ごとに達成すべき成果目標を定めており、状況に応じて、更なる検討・検証等を行い、必要に応じて見直しを行うこととしている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	医療分野の研究開発の推進にあたっては、法律に基づき、日本医療研究開発機構において実施することとなっており、政府の全体方針に基づく効果的・有効な事業を推進していくこととしている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	日本医療研究開発機構に、医薬品、医療機器等及び医療技術に係る医療分野の研究開発業務に関し、国が戦略的に行う研究費等の配分機能等を集約し、一体的な資金配分を行うとともに、各省それぞれが実施してきた医療分野の研究開発について、プログラムディレクター(PD)の目利き機能を生かした基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、基礎から実用化まで切れ目ない研究支援を一体的に行うこととしている。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	文部科学省	0250	国立研究開発法人日本医療研究開発機構運営費交付金に必要な経費	

点検・改善結果	点検結果	本事業は個々の設定しているアウトカムにおいて目標を達成しており、医療分野の研究開発の推進に寄与していると考えられる。 なお、汎用的な備品や消耗品等の調達に当たって一括調達や単価契約を行い、効率化を図ることとしている。			
	改善の方向性	引き続き政府の全体方針に基づき効果的・有効な事業を推進し、一括調達や単価契約に取り組むとともに、国立研究開発法人間で調達実績等の情報を共有し、引き続き効率的な調達に努める。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	1. 事業の評価の観点:この事業は、日本医療研究開発機構において、医薬品・医療機器開発への取組等といった医療分野の研究開発を基礎から実用化まで一貫して推進するものであり、予算執行の状況、契約手続きの観点から検証を行った。				
	2. 所見:この事業はアウトプット及びアウトカムについては概ね目標・当初見込みを達成できており、事業の推進が為されていると認められる。事業所管部局による点検・改善に記載の通り、契約の見直しに向けた改善は行っているものの、1者応札や競争性のない随意契約となっている案件が引き続き見受けられることから、より一層の見直しを図ることにより、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
改年改善を内検に討	競争参加者からの問合せに適切に対応しつつ、入札公告を掲載するホームページを見やすく整備する。また、仕様策定等において、合理的で適正な範囲となるように留意することで、調達に参加しやすい環境を整え、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成26年度	26-214、26-215、26-216、26-224、26-229、26-230	平成27年度	新27-0025	平成28年度	244
平成29年度	文部科学省（0252）				
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する） （単位：百万円）	※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。				
	文部科学省 61,227百万円 A.国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 61,227百万円 （補助事業の管理等に係る事務費 ①人件費・謝金 977百万円 ②旅費 122百万円 ③その他 2百万円 【一般競争等・物品購入等】 B. 企業等（全107機関） 富士通エフ・アイ・ピー株式会社等 378百万円 （審査、評価等関連業務経費） 【公募・間接補助】 C. 大学・研究機関等（全54機関） 国立大学法人東京大学等 10,861百万円 （研究開発の実施） 委託（公募）【随意契約】 D. 大学・研究機関等（全207機関） 国立大学法人東京大学等 44,148百万円 （研究開発の実施） 【拠出】 E. 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構 1,839百万円 （HFSPの各種事業を実施）				

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構			B. 富士通エフ・アイ・ピー株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金	医療分野の研究開発	61,227	役務費	ゲノム医療研究支援情報ポータルサイト運用支援・保守及び開発	26
	計		61,227	計		26
	C. 国立大学法人東京大学			D. 国立大学法人東京大学		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物件費	備品、消耗品等の購入費用	1,123.4	物品費	備品、消耗品等の購入費用	2,018.2
	旅費	旅費	14.4	旅費	旅費	151.7
	人件費	人件費、謝金	409.7	人件費	人件費、謝金	1,460.5
	その他	印刷費、外注費等	484.1	その他	印刷費、外注費等	1,308
	一般管理費	研究遂行に関連して必要な経費	179.3	間接経費	研究遂行に関連して必要な経費	1,246.2
	計		2,210.8	計		6,184.7
	E. 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	拠出金	HFSPの各種事業を実施するための経費	1,839			
	計		1,839	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	61,227	補助金等交付	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	6010601024969	研究支援情報ポータルサイト運用支援・保守及び開発	26	一般競争契約 (総合評価)	1	94.6%	-
2	一般社団法人知識流動システム研究所	3010405015192	研究支援機能業務	20	一般競争契約 (総合評価)	4	88.1%	-
3	大学共同利用機関法人情報システム研究機構	1012805001385	データベース用ストレージサービス	20	随意契約 (その他)	-	-	-
4	株式会社ティーケーピー	7010001105955	会場施設使用料	4	随意契約 (その他)	-	-	-
5	株式会社羊土社	3010001031775	冊子制作	3	随意契約 (少額)	-	-	-
6	公益財団法人日本科学技術振興財団	5010005016795	Webサイト運営管理	1	随意契約 (少額)	-	-	-
7	株式会社オーエムシー	9011101039249	シンポジウム開催支援	1	随意契約 (少額)	-	-	-
8	公益財団法人全日本地域研究交流協会	9010005017352	報告会受付支援業務	1	随意契約 (少額)	-	-	-
9	国立大学法人一橋大学	9012405001282	シンポジウム会場借上	1	随意契約 (その他)	-	-	-
10	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	速記出張録音・テープ起こし	1	一般競争契約 (最低価格)	5	100%	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	クライオ電顕による細胞内 ネイティブ複合体構造解析 他	2,211	随意契約 (その他)	-	-	-
2	国立大学法人東北大学	7370005002147	東北メディカル・メガバンク 計画(東北大学) 他	1,712	随意契約 (その他)	-	-	-
3	国立大学法人大阪大学	4120905002554	創薬等ライフサイエンス研 究のための相関構造解析 プラットフォームによる支援 と高度化(創薬等ライフサイ エンス研究のための多階層 構造生命科学解析技術の 支援と高度化) 他	1,548	随意契約 (その他)	-	-	-
4	国立研究開発法人 理化学研究所	1030005007111	創薬等ライフサイエンス研 究のための相関構造解析 プラットフォームによる支援 と高度化(SPring- 8/SACLAにおけるタンパク 質立体構造解析の支援お よび高度化) 他	760	随意契約 (その他)	-	-	-
5	大学共同利用機関 法人高エネルギー加 速器研究機構	4050005005267	創薬等ライフサイエンス研 究のための相関構造解析 プラットフォームによる支援 と高度化(PFにおけるタン パク質立体構造解析の支 援と高度化、相関構造解析 への展開) 他	593	随意契約 (その他)	-	-	-
6	国立大学法人京都大学	3130005005532	ラットリソースの収集・保 存・提供 他	572	随意契約 (その他)	-	-	-
7	国立大学法人九州大学	3290005003743	地域と拠点を結び世界へ展 開する新規医療技術の研究 ・開発 他	342	随意契約 (その他)	-	-	-
8	国立大学法人名古屋大学	3180005006071	自立可能な好循環型先端 医療開発拠点の創成を目 指した研究 他	328	随意契約 (その他)	-	-	-
9	大学共同利用機関 法人情報・システム 研究機構	1012805001385	情報発信体制の整備とプロ ジェクトの総合的推進	301	随意契約 (その他)	-	-	-
10	学校法人早稲田大学	5011105000953	創薬等ライフサイエンス研 究を促進する研究支援と データサイエンス 他	226	随意契約 (その他)	-	-	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	バイオバンクの構築と臨床 情報データベース化 他	6,184	随意契約 (その他)	-	-	-
2	国立大学法人京都大学	3130005005532	再生医療用iPS 細胞ストック 開発拠点 他	5,955	随意契約 (その他)	-	-	-
3	国立大学法人東北大学	7370005002147	AMEDが行うゲノム医療研 究支援サービスを支える研 究開発基盤の整備 他	4,332	随意契約 (その他)	-	-	-
4	国立大学法人大阪大学	4120905002554	老化機構・制御研究拠点 他	3,538	随意契約 (その他)	-	-	-
5	国立研究開発法人 理化学研究所	1030005007111	革新的技術による脳機能 ネットワークの全容解明(中 核拠点) 他	3,510	随意契約 (その他)	-	-	-
6	学校法人慶應義塾	4010405001654	iPS細胞を用いた再生心筋 細胞移植による重症心不 全治療法の確立 他	1,873	随意契約 (その他)	-	-	-
7	国立大学法人九州大学	3290005003743	DOCKファミリー分子の生体 機能と動作原理の理解に 基づく革新的医薬品の創出 他	1,226	随意契約 (その他)	-	-	-
8	国立大学法人東京 医科歯科大学	6010005007397	培養腸上皮幹細胞を用い た炎症性腸疾患に対する 粘膜再生治療の開発拠点	1,128	随意契約 (その他)	-	-	-
9	国立大学法人名古屋大学	3180005006071	統合失調症と自閉スペクト ラム症のゲノム解析結果を 活かした診断法・治療法開 発	922	随意契約 (その他)	-	-	-
10	公益財団法人がん研 究会	1010605002372	次世代がん医療創生研究 における先進技術支援 他	869	随意契約 (その他)	-	-	-

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構	-	「ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム」に参加するための拠出金	1,839	その他		-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-

別紙1

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
	脳科学研究戦略推進プログラム・脳機能ネットワークの全容解明プロジェクトにおいて 平成25年・26年：課題数x5を上回る論文掲載を達成する 平成27年以降：前年度を上回る論文掲載を達成する	事業の成果としての論文数	成果実績	件	393	628	764	－	－
			目標値	件	338	394	629	－	－
			達成度	%	116.3	159.4	121.5	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文科省調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
	平成28年度までに地域住民コホート調査は8万人以上のリクルートを達成する	地域住民コホート調査のリクルート数(人) (注)平成25年度より調査開始	成果実績	人	84,049	－	－	－	－
			目標値	人	80,000	－	－	－	－
			達成度	%	105.1	－	－	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文科省調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
	平成28年度までに3世代コホートは7万人規模のリクルートを達成する	3世代コホート調査のリクルート数(人) (注)平成25年度より調査開始	成果実績	人	51,252	72,386	－	－	－
			目標値	人	60,111	70,000	－	－	－
			達成度	%	80.9	103.4	－	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文科省調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 30 年度
	バイオ医薬品における製薬企業が抱える技術的課題を解決するとともに次世代技術を創出し、少なくとも1件の革新的バイオ医薬品創出基盤技術を5年以内に企業等へ技術移転する	企業等への技術移転件数	成果実績	件	1	4	20	－	－
			目標値	件	－	－	－	－	1
			達成度	%	－	－	－	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文科省調べ								

平成30年度実施施策に係る事前分析表

(文部科学省 30-9-3)

施策名	健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応
施策の概要	「生命現象の統合的理解」を目指した研究を推進するとともに、「先端医療の実現のための研究」等の推進を重視し、国民への成果還元を抜本的に強化する。さらに、生命倫理問題等が及ぼす倫理的・法的・社会的課題に対し、研究の進展状況を踏まえた施策への反映、研究者等への法令等の遵守の徹底等を通じ、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和を目指す。

達成目標 1	医薬品・医療機器開発への取組： 医薬品創出のための支援基盤の整備等により、革新的医薬品・医療機器開発を推進する。								
達成目標 1 の 設定根拠	「健康・医療戦略」（平成 26 年 7 月 22 日閣議決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）、「医療分野研究開発推進計画」（平成 26 年 7 月 22 日健康・医療戦略推進本部決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）において、医薬品・医療機器開発への取組を推進することが掲げられているため。								
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定	
	28 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	毎年度		
①創薬支援により新たに創薬シーズ [†] が見つかった件数 [†] ：取扱いテーマにおいて一次スクリーニングでヒットがあった場合を 1 とカウントする	94	79	81	82	94	90	前年度以上		
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—			
	目標値の設定根拠	ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションへの貢献を目的とした事業であるが、事業開始当初、成果がどの程度創出されるか不明であったことから、定量的な指標を設定するため、目安として「新たな創薬シーズが見つかった件数」が前年度以上であることを目標とした。 ※なお、本事業開始後に策定された「医療分野研究開発推進計画」において、医薬品創出に関連する達成目標が示されているが、本事業においては指標の継続性を重視することとし、当初定めた目標を用いることとした。							
	指標の根拠	—							
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定	
	一年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度		
②革新的医療機器の実用化に資する成果の件数（累積）	—	—	—	3	4	4	5 件以上		
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—			
	目標値の設定根拠	「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」において設定されている革新的な医療技術創出拠点に関する達成目標「2020 年までの達成目標：5 種類以上の革新的医療機器の実用化」に基づく。							
	指標の根拠	—							
施策・指標に関するグラフ・図等									
・測定指標①：文部科学省調べ ・測定指標②：文部科学省調べ									

達成手段 (事業)			
名 称 (開始年度)	平成 29 年度予算額 (執行額) 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	行政事業レビューシート番号
医療分野の研究開発の推進のうち、創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業 (平成 24 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
医療分野の研究開発の推進のうち、革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業 (平成 26 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
医療分野の研究開発の推進のうち、革新的先端研究開発支援事業 (平成 14 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
医療分野の研究開発の推進のうち、医療分野研究成果展開事業 (内訳) ○先端計測分析技術・機器開発プログラム (平成 16 年度) ○研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) (平成 21 年度) ○戦略的イノベーション創出プログラム(S-イノベ)(平成 21 年度) ○産学共創基礎基盤研究プログラム (平成 22 年度) ○産学連携医療イノベーション創出プログラム (平成 27 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
国立研究開発法人理化学研究所 運営費交付金に必要な経費 (平成 15 年度)	52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	0184
国立研究開発法人量子科学技術 研究開発機構運営費交付金に必要な経費 (平成 13 年度)	21,609 の内数 (21,609 の内数)	21,610 の内数	0229
達成手段 (独立行政法人の事業)			
名 称 (開始年度)	平成 29 年度予算額 (執行額) 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	事業の概要
国立研究開発法人理化学研究所 健康・医療フロンティアプロジェクト事業等 (平成 26 年度)	52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	理化学研究所のポテンシャルを生かした医療分野の基礎・基盤研究として、創薬支援ネットワークの強化・再生医療に向けた基盤研究・疾患克服に向けた研究・分野横断的先端研究等を推進するとともに、ライフサイエンスの横断的取組による超高齢社会課題解決に向けた取組を推進する。
国立研究開発法人量子科学技術 研究開発機構	21,609 の内数 (21,609 の内数)	21,610 の内数	近い将来に国民の二人に一人が罹患するとされるがんや、患者が増

放射線の医学的利用に関する研究開発事業 (平成 13 年度)			加している精神・神経疾患等についての診断及び治療に資する、重粒子線がん治療及び分子イメージング技術に関する研究を推進。
平成 29 年度事前分析表からの変更点	—		

達成目標 2	臨床研究・治験への取組： 全国に橋渡し研究拠点を整備し、アカデミア等の基礎研究の成果を一貫して実用化につなぐ体制を構築する。								
達成目標 2 の 設定根拠	「健康・医療戦略」（平成 26 年 7 月 22 日閣議決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）、 「医療分野研究開発推進計画」（平成 26 年 7 月 22 日健康・医療戦略推進本部決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）において、大学などの研究機関で実施される基礎研究の成果を円滑に実用化へつなげることや橋渡し研究支援拠点等を活用して臨床研究及び治験を推進することが掲げられているため。								
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定	
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度		
①橋渡し研究支援 拠点の支援により 基礎研究の成果が薬事法に基 づく医師主導治験の段階に移行 した数（件）	5	11	16	18	16	24	約 17		
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—			
	目標値の 設定根拠	「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」において設定されている革新的な医療技術創出拠点に関する達成目標「2020 年までの達成目標：医師主導治験届出数 年間 40 件」に基づく。 ※健康・医療戦略、推進計画における達成目標の年間 40 件については、文部科学省と厚生労働省の合計の目標値であるため、文科省 10 拠点：厚労省 13 拠点であん分し、17.4 件（=40 件×10/23）のため、「約 17 件」とした。							
	指標の根拠	—							
施策・指標に関するグラフ・図等									
・測定指標①：文部科学省調べ									
達成手段 （事業）									
名 称 （開始年度）	平成 29 年度予算額 （執行額） 【百万円】		平成 30 年度 当初予算額 【百万円】		行政事業レビューシート番号				
医療分野の研究開発の推進のうち、橋渡し研究戦略的推進プログラム （平成 29 年度）	61,227 の内数 (61,227 の内数)		53,092 の内数		0249				
平成 29 年度事前分析表からの変更点	—								

達成目標 3	世界最先端の医療の実現に向けた取組： iPS 細胞等を用いた革新的な再生医療・創薬をいち早く実現するための研究開発の推進を図るとともに、ゲノム医療の実現に向けた取組を推進する。								
達成目標 3 の 設定根拠	「健康・医療戦略」（平成 26 年 7 月 22 日閣議決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）、 「医療分野研究開発推進計画」（平成 26 年 7 月 22 日健康・医療戦略推進本部決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）において、再生医療及びゲノム医療の実現に向けた研究開発の推進等が掲げられているため。								
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定	
	23 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度		
①iPS 細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究への移行（件）（累積）	0	3	5	6	7	7	約 15		
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—			
	目標値の設定根拠	「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」において設定されている再生医療に関する達成目標「2020 年までの達成目標：臨床研究又は治療に移行する対象疾患の拡大 約 35 件」に基づく。 ※健康・医療戦略、推進計画における達成目標の年間 35 件については、3 省（文部科学省、厚生労働省、経済産業省）の合計の目標値であり、そのうちの文部科学省分として「約 15 件」とした。							
	指標の根拠	—							
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定	
	25 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度		
②発見された疾患関連遺伝子候補及び薬剤関連遺伝子候補数（累積）	66	66	196	283	330	370	400		
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—			
	目標値の設定根拠	平成 30 年度に開始したゲノム研究バイオバンク事業の前身事業終了時（平成 29 年度）の実績を上回ることを目標として設定。							
	指標の根拠	—							
施策・指標に関するグラフ・図等									
・測定指標①：文部科学省調べ ・測定指標②：文部科学省調べ									
達成手段 （事業）									
名 称 （開始年度）	平成 29 年度予算額 （執行額） 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	行政事業レビューシート番号						
医療分野の研究開発の推進のうち、再生医療実現拠点ネットワークプログラム （平成 25 年度）	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249						
医療分野の研究開発の推進のうち、東北メディカル・メガバンク計画 （平成 23 年度）	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249						
医療分野の研究開発の推進のうち、ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業 （平成 28 年度）	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249						

医療分野の研究開発の推進のうち、 ゲノム研究バイオバンク事業 (平成 30 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
国立研究開発法人理化学研究所運営 費交付金に必要な経費 (平成 15 年度)	52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	0184
達成手段 (独立行政法人の事業)			
名 称 (開始年度)	平成 29 年度予算額 (執行額) 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	事業の概要
国立研究開発法人理化学研究所 健康・医療フロンティアプロジェク ト事業等 (平成 26 年度)	52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	理化学研究所のポテンシャルを生 かした医療分野の基礎・基盤研究 として、創薬支援ネットワークの 強化・再生医療に向けた基盤研 究・疾患克服に向けた研究・分野 横断的先端研究等を推進するとと もに、ライフサイエンスの横断的 取組による超高齢社会課題解決に 向けた取組を推進する。
平成 29 年度事前分 析表からの変更点	—		

達成目標 4	疾病領域ごとの取組： がん、精神・神経疾患、感染症等の疾患克服に向けた研究開発等を推進する。							
達成目標 4 の 設定根拠	「健康・医療戦略」（平成 26 年 7 月 22 日閣議決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）、 「医療分野研究開発推進計画」（平成 26 年 7 月 22 日健康・医療戦略推進本部決定、平成 29 年 2 月 17 日一部変更）において、疾患に対応した研究の推進が掲げられているため。							
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定
	28 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	33 年度	
①次世代がん医療 創成研究事業採 択課題のうち、 新規分子標的薬 剤および新規治 療法に資する有 望シーズ、早期 診断・個別化治 療予測バイオマ ーカーおよび新 規免疫関連有効 分子の数(累積)	3	—	—	—	3	4	15	
	年度ごと の目標値	—	—	—	—	—		
	目標値の 設定根拠	「医療分野研究開発推進計画」において設定されているがんに関する達成 目標「2015 年頃までの達成目標：新規抗がん剤の有望シーズを 10 種取得、 早期診断バイオマーカー及び免疫治療予測マーカーを 5 種取得」に基づく。 ※なお、本事業開始後に一部変更された「医療分野研究開発推進計画」に おいて、がんに関連する達成目標が示されているが、本事業においては 指標の継続性を重視することとし、当初定めた目標を用いることとし た。						
	指標の根拠	—						
②病原体（インフ ルエンザ・デング 熱・下痢症感 染症・薬剤耐性 菌）の疫学研究 及び治療薬、迅 速診断法等の研 究開発の進捗	基準	一年度	—					判定
	進捗状況	27 年度	—					
		28 年度	インドネシアにおいて高病原性鳥インフルエンザウイルス H5N1 に対するヒトの抗体保有調査によって多数の不 顕性感染者の存在を世界で初めて示し、また薬剤耐性菌の 耐性を阻害し、感受性を回復させる候補薬剤を見いだした 等の成果を創出。					
		29 年度	全てのデングウイルスについてウイルス増殖阻害効果を					

			示す候補化合物の取得に成功し、また薬剤耐性菌についてサーベイランスや感染予防に有用となる迅速簡便な検出方法を開発した等の成果を創出。		
	目標	32 年度	病原体（インフルエンザ・デング熱・下痢症感染症・薬剤耐性菌）の流行株の予測や感染経路の解明、治療候補の同定、迅速検出系の構築等を図る。		
	目標の設定根拠	「医療分野研究開発推進計画」において設定されている新興・再興感染症に関する達成目標「2020 年までの達成目標：得られた病原体（インフルエンザ、デング熱、下痢症感染症、薬剤耐性菌）の全ゲノムデータベース等を基にした、薬剤ターゲット部位の特定及び新たな迅速診断法等の開発・実用化」に基づく。			
施策・指標に関するグラフ・図等					
・測定指標①：文部科学省調べ ・測定指標②：文部科学省調べ					
達成手段 (事業)					
名 称 (開始年度)		平成 29 年度予算額 (執行額) 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	行政事業レビューシート番号	
医療分野の研究開発の推進のうち、 脳科学研究戦略推進プログラム・脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト (平成 20 年度)		61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249	
医療分野の研究開発の推進のうち、 次世代がん医療創生研究事業 (平成 28 年度)		61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249	
医療分野の研究開発の推進のうち、 感染症研究国際展開戦略プログラム (平成 27 年度)		61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249	
医療分野の研究開発の推進のうち、 感染症研究革新イニシアティブ (平成 29 年度)		61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249	
国立研究開発法人理化学研究所運営 費交付金に必要な経費 (平成 15 年度)		52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	0184	
達成手段 (独立行政法人の事業)					
名 称 (開始年度)		平成 29 年度予算額 (執行額) 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	事業の概要	
国立研究開発法人理化学研究所 健康・医療フロンティアプロジェクト事業等 (平成 26 年度)		52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	理化学研究所のポテンシャルを生かした医療分野の基礎・基盤研究として、創薬支援ネットワークの強化・再生医療に向けた基盤研究・疾患克服に向けた研究・分野横断的先端研究等を推進するとともに、ライフサイエンスの横断的取組による超高齢社会課題解決に向けた取組を推進する。	
平成 29 年度事前分析表からの変更点		—			

達成目標 5	幅広いライフサイエンス分野の取組の推進： ライフサイエンス研究基盤の整備、国際共同研究等の幅広いライフサイエンス分野の取組を推進。								
達成目標 5 の 設定根拠	医療等のライフサイエンス分野の研究の発展のために、研究基盤の整備や国際共同研究等の取組を推進することが重要であるため。								
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定	
	一年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	毎年度		
①提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数	—	913	1068	883	951	803	前年度と同程度		
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—			
	目標値の設定根拠	ライフサイエンス研究の発展に資する実験動植物等の収集・保存・提供を通じた研究基盤の整備を目標としており、目安として基盤整備の推進指標がわかる「提供先から発表された論文数」が前年度と同程度の実績値であることを目標とした。							
	指標の根拠	—							
施策・指標に関するグラフ・図等									
・測定指標①：文部科学省調べ									
達成手段 (事業)									
名 称 (開始年度)	平成 29 年度予算額 (執行額) 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	行政事業レビューシート番号						
医療分野の研究開発の推進のうち、 ナショナルバイオリソースプロジェクト (平成 14 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249						
医療分野の研究開発の推進のうち、 老化メカニズムの解明・制御プロジェクト (平成 29 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249						
医療分野の研究開発の推進のうち、 医療分野国際科学技術共同研究開発 推進事業 (内訳) ○地球規模課題対応国際科学協力プログラム (SATREPS)) ※1 (平成 20 年度) ○戦略的国際科学技術協力推進事業 (SICORP) ※1 (平成 21 年度) ○戦略的国際科学技術協力推進事業 (SICP) ※1 (平成 15 年度) ○社会システム改革と研究開発の一体的推進 ※2 (平成 25 年度) ○アフリカにおける顧みられない熱帯病 (NTDs) 対策のための国際共同研究 ※3 (平成 27 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249						

医療分野の研究開発の推進のうち、 ヒューマン・フロンティア・サイエ ンス・プログラム (平成 26 年度)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
医療分野の研究開発の推進のうち、 革新的先端研究開発支援事業 (再掲)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
医療分野の研究開発の推進のうち、 医療分野研究成果展開事業 (再掲)	61,227 の内数 (61,227 の内数)	53,092 の内数	0249
国立研究開発法人科学技術振興機構 運営費交付金に必要な経費 (平成 25 年度)	101,869 の内数 (101,869 の内数)	100,812 の内数	0180
国立研究開発法人科学技術振興機構 施設整備に必要な経費 (平成 21 年度)	48 の内数 (48 の内数)	142 の内数	0181
国立研究開発法人理化学研究所運営 費交付金に必要な経費 (平成 15 年度)	52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	0184
国立研究開発法人理化学研究所施設 整備に必要な経費 (平成 15 年度)	1,955 の内数 (1,955 の内数)	0	0185
国立研究開発法人量子科学技術研究 開発機構運営費交付金に必要な経費 (平成 13 年度)	21,609 の内数 (21,609 の内数)	21,610 の内数	0229
国立研究開発法人量子科学技術研究 開発機構施設整備に必要な経費 (平成 13 年度)	4,490 の内数 (4,490 の内数)	3,052 の内数	0230
国立研究開発法人日本医療研究開発 機構運営費交付金に必要な経費 (平成 27 年度)	5,592 の内数 (5,592 の内数)	5,663 の内数	0250
達成手段 (独立行政法人の事業)			
名 称 (開始年度)	平成 29 年度予算額 (執行額) 【百万円】	平成 30 年度 当初予算額 【百万円】	事業の概要
国立研究開発法人 科学技術振興機構 ライフサイエンスデータベース統合 推進事業 (平成 23 年度)	101,869 の内数 (101,869 の内数)	100,812 の内数	様々な研究機関等によって作成さ れるライフサイエンス分野デー タベースの統合に向けた、戦略の立 案、ポータルサイトの構築・運用 及び研究開発を推進。
国立研究開発法人理化学研究所 健康・医療フロンティアプロジェク ト事業等 (平成 26 年度)	52,591 の内数 (52,591 の内数)	52,869 の内数	理化学研究所のポテンシャルを生 かした医療分野の基礎・基盤研究 として、創薬支援ネットワークの 強化・再生医療に向けた基盤研 究・疾患克服に向けた研究・分野 横断的先端研究等を推進するとと もに、ライフサイエンスの横断的 取組による超高齢社会課題解決に 向けた取組を推進する。
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線の医学的利用に関する研究開 発事業 (平成 13 年度)	21,609 の内数 (21,609 の内数)	21,610 の内数	近い将来に国民の二人に一人が罹 患するとされるがんや、患者が増 加している精神・神経疾患等につ いての診断及び治療に資する、重 粒子線がん治療及び分子イメージ ング技術に関する研究を推進。

平成 29 年度事前分析表からの変更点	—
---------------------	---

達成目標 6	研究の発展・動向を踏まえ、生命倫理に関する法令・指針に基づいた規制を適切に実施する。							
達成目標 6 の 設定根拠	生命倫理に関する法令・指針は、ライフサイエンス研究の実施に伴って生じうる倫理的・法的・社会的課題を踏まえて制定されたものであり、当該法令・指針に基づく規制を適切に実施することは、研究の発展と社会の調和を図る上で不可欠であるため。							
測定指標	基準値	実績値					目標値	判定
	23 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	毎年度	
①生命倫理に関わる法令・指針への不適合事案の発生件数	0	1（他府省と共管）	0	0	0	0	0（不適合事案が発生した場合は、適切に処理するとともに、再発防止策を講じる）	
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
	目標値の設定根拠	生命倫理に関する法令・指針に基づく規制を周知徹底し、その遵守を図るため、法令・指針への不適合事案が発生しないことを目標値としている。						
	指標の根拠	—						
施策・指標に関するグラフ・図等								
・測定指標①：文部科学省調べ								
達成手段 （事業）								
名 称 （開始年度）	平成 29 年度予算額 （執行額） 【百万円】		平成 30 年度 当初予算額 【百万円】		行政事業レビューシート番号			
ライフサイエンス研究開発推進 経費 （平成 23 年度）	64 （45）		55		0248			
達成手段 （諸会議・研修・ガイドライン等）								
名 称 （開始年度）	概 要						担当課 （関係課）	
ポータルサイトを通じた情報提供 （平成 17 年度）	生命倫理に関するポータルサイト（文部科学省ライフサイエンスの広場「生命倫理に関する取組」）において、法令・指針の本文、ガイドダンス、通知等の関連情報を一元的に掲載し、適時更新することにより、法令・指針の趣旨や内容を周知・徹底している。（同サイトには、法令・指針の策定・改正時に開催した説明会の資料や、法令・指針の原案について審議した会議の資料・議事録、法令・指針の内容等に関する照会先等も掲載。）						開発振興局 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室	
平成 29 年度事前分析表からの変更点	—							

施策の予算額・執行額					
(※政策評価調書に記載する予算額)					
		28 年度	29 年度	30 年度	31 年度要求額
予算の状況 【千円】 上段：単独施策に係る 予算 下段：複数施策に係る 予算	当初予算	58,770,946 ほか復興庁一括 計上分 1,217,836	58,810,086 ほか復興庁一括 計上分 1,592,780	58,810,480 ほか復興庁一括 計上分 1,583,775	70,561,657 ほか復興庁一括 計上分 1,583,775
		<178,761,345> ほか復興庁一括 計上分<554,720>	<180,390,176> ほか復興庁一括 計上分<416,609>	<178,485,411> ほか復興庁一括 計上分<0>	<212,874,390> ほか復興庁一括 計上分<0>
	補正予算		0 ほか復興庁一括 計上分 0	0 ほか復興庁一括 計上分 0	
			<0> ほか復興庁一括 計上分<0>	<0> ほか復興庁一括 計上分<0>	
	繰越し等		△169,434 ほか復興庁一括 計上分 0		
			<△1,463,916> ほか復興庁一括 計上分<0>		
	合 計		58,640,652 ほか復興庁一括 計上分 1,592,780		
			<182,562,260> ほか復興庁一括 計上分<0>		
執行額 【千円】			58,621,431 ほか復興庁一括 計上分 1,592,780		
			<182,561,721> ほか復興庁一括 計上分<0>		

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報
—

施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)		
名 称	年月日	関係部分
健康・医療戦略	平成 26 年 7 月 22 日 (閣議決定)、 平成 29 年 2 月一 部変更	全文
医療分野研究開発推進 計画	平成 26 年 7 月 22 日 (健康・医療戦 略推進本部決 定)、平成 29 年 2 月一部変更	全文

有識者会議での 指摘事項	—
-----------------	---

主管課（課長名）	研究振興局 ライフサイエンス課 （仙波 秀志）
関係課（課長名）	研究振興局 研究振興戦略官 （吉田 光成） 研究振興局 ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室 （前澤 綾子） 研究振興局 基礎研究振興課基礎研究推進室 （金子 忠利） 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 （西條 正明） 科学技術・学術政策局 科学技術・学術戦略官（国際担当） （上田 光幸）
評価実施予定時期	平成 32 年度